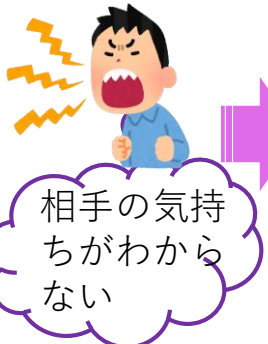


特別支援学校における関わる力の育成 ～全校縦割り班活動の継続的な実践～

小出特別支援学校 児童生徒会執行部担当 山岡七恵 廣川えり

1 教師のねらい(実態と目指す姿)



- 主体的な関わり
- 人間関係の広がり
- 適切な関わり方の習得



2 「ふれあい集会」の概要と工夫

- 概要**
- ・全校縦割り班を設定
 - ・年に5回の関わり活動
 - ・児童生徒会による企画運営

- 子ども同士の関わりを促す活動の設定**
- ・ペアリレー、風船バレー、プランターの花植えなど、協力する活動を設定。



- 全員が参加可能な内容の工夫**
- ・子どもが主体的に参加できる。
 - ・全員で楽しむことで一体感が生まれる。



- 高等部生徒の事前学習**
- ・活動内容の確認や関わり方の練習をし、リーダーとしての意識を高める。



- 振り返りカードで成果の共有**
- ・楽しかったことや嬉しかったことを書き残し、共有することで、絆を深める。



高と小中のペア 教師の支援を減らす共通理解

3 まとめ

【成果】

- 高等部生徒への事前事後学習
- 全員が参加でき、子ども同士で協力できる活動の設定

【課題】

- ・他の教育活動における縦割り班の活用または活動設定
- ・高等部生徒への事前事後学習の充実と工夫
- ・児童生徒会活動における小中学部の活躍の場の工夫

- ・児童生徒同士の関わりが増えた。
- ・上級生が下級生の行動に合わせてリードする姿が見られた。
- ・集団活動の苦手な子も参加できるようになった。

